

## 結果の概要

平成 22 年度、平成 28 年度、令和 3・4 年度県民健康・栄養調査の 3 回分のデータをプール化して、所得と循環器疾患に係る危険因子、生活習慣、食品群別摂取量等について解析した結果を以下に示す。

### (1) 所得と循環器疾患に係る危険因子に関する状況

世帯の所得別（200 万円未満、200 万円以上 600 万円未満、600 万円以上）に世帯員の循環器疾患に係る危険因子（糖尿病、脂質異常症、血圧）の状況を比較した結果、男女とも有意な差はみられなかった。

表 1 解析対象者における年間所得の状況

※解析対象者とは、世帯の年間収入の設問に世帯主又は世帯の代表者が有効回答した世帯から、「わからない」と回答した世帯を除いた。また、世帯主または世帯の代表者が回答した世帯年収を世帯全員に当てはめた。

	男性 n= 686		女性 n= 770	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
200万円未満	99	14.4	147	19.1
200万円以上600万円未満	417	60.8	438	56.9
600万円以上	170	24.8	185	24.0

表 2 所得と循環器疾患に係る危険因子に関する状況

注 1) 年齢階級（20-29 歳、30-39 歳、40-49 歳、50-59 歳、60-69 歳、70 歳以上の 6 区分）と世帯員数（1 人、2 人、3 人以上世帯の 3 区分）での調整値。

割合に関する項目は直接法、平均値に関する項目は共分散分析を用いて算出。

注 2) 「所得」とは、回答した過去 1 年間の世帯の収入（税込み）。

注 3) 世帯の所得額を当該世帯員に当てはめて多変量解析（世帯の所得額を当該世帯員に当てはめて、割合に関する項目はロジスティック回帰分析、平均値に関する項目は共分散分析）を用いて 600 万円以上を基準とした他の 2 群との群間比較を実施。

注 4) ★は世帯の所得が 600 万円以上の世帯員と比較して群間の有意差があった項目。

		男性							
		①200万円未満		②200万円以上 600万円未満		③600万円以上		① vs ③	② vs ③
		人数 (人)	推定値	人数 (人)	推定値	人数 (人)	推定値		
糖尿病									
糖尿病が強く疑われる者と可能性が否定できない者の割合	%	28	17.9	155	24.1	54	18.8		
(再掲)糖尿病が強く疑われる者の割合	%	28	9.2	155	16.6	54	7.0		
(再掲)糖尿病の可能性が否定できない者の割合	%	28	8.7	155	7.5	54	11.8		
脂質異常症									
脂質異常症の疑いがある者の割合	%	28	13.2	155	6.3	55	6.2		
血圧の状況									
高血圧症有病者の割合	%	30	43.3	158	43.2	59	46.9		
収縮期血圧の平均値	mmHg	31	140.6	160	131.4	59	134		

		女性							
		①200万円未満		②200万円以上 600万円未満		③600万円以上		① vs ③	② vs ③
		人数 (人)	推定値	人数 (人)	推定値	人数 (人)	推定値		
糖尿病									
糖尿病が強く疑われる者と可能性が否定できない者の割合	%	68	10.8	212	11.4	79	9.3		
(再掲)糖尿病が強く疑われる者の割合	%	68	5.8	212	4.6	79	1.2		
(再掲)糖尿病の可能性が否定できない者の割合	%	68	5.0	212	6.8	79	8.1		
脂質異常症									
脂質異常症の疑いがある者の割合	%	68	5.3	212	6.1	80	4.2		
血圧の状況									
高血圧症有病者の割合	%	70	50.2	215	45.2	86	37.7		
収縮期血圧の平均値	mmHg	70	128.1	216	124.5	86	122.6		

※「糖尿病が強く疑われる者」とは、平成 22 年はヘモグロビン A1c の測定値があり、インスリン注射または血糖を下げる薬の使用について回答した者のうち、ヘモグロビン A1c (JDS) 値が 6.1%以上またはインスリン注射または血糖を下げる薬の使用ありと回答した者。平成 28 年、令和 3・4 年は、ヘモグロビン A1c の測定値があり、身体状況調査票 (7)、(7-1) 及び (7-2) が有効回答の者のうち、ヘモグロビン A1c (NGSP) の値が 6.5%以上の者、又は身体状況調査票 (7)「これまでに医療機関や健診で糖尿病といわれたことの有無」に「有」と回答し (7-1)「現在、糖尿病治療の有無」に「有」と回答した者。

※「糖尿病の可能性を否定できない者」とは、平成 22 年はヘモグロビン A1c の測定値がある者のうち、ヘモグロビン A1c (JDS) 値が 5.6%以上、6.1%未満で、「糖尿病が強く疑われる者」以外の者。平成 28 年、令和 3・4 年はヘモグロビン A1c の測定値がある者のうち、ヘモグロビン A1c (NGSP) 値が 6.0%以上、6.5%未満 (平成 19 年まではヘモグロビン A1c (JDS) 値が 5.6%以上、6.1%未満) で、「糖尿病が強く疑われる者」以外の者。

※「脂質異常症の疑いがある者」とは、HDL コレステロールを測定し、身体状況調査の問診において「(6)(c) コレステロールを下げる薬」、「(6)(d) 中性脂肪 (トリグリセライド) を下げる薬」の使用状況に回答した者のうち、HDL コレステロールが 40mg/dL 未満、もしくはコレステロールを下げる薬または中性脂肪 (トリグリセライド) を下げる薬を服用していると回答した者。

※「高血圧有病者」とは、血圧の測定を行い、身体状況調査の問診において「血圧を下げる薬」に回答した者のうち、収縮期血圧 140mmHg 以上、または拡張期血圧 90mmHg 以上、もしくは血圧を下げる薬を服用していると回答した者。

※「収縮期血圧の平均値」とは、個々人の 2 回の測定値から算出。

## (2) 所得と生活習慣等に関する状況

世帯の所得別 (200 万円未満、200 万円以上 600 万円未満、600 万円以上) に世帯員の生活習慣等 (運動、喫煙、飲酒、体型、バランスのとれた食事) の状況を比較した結果は、以下のとおり。

### <運動、喫煙>

- ・運動、喫煙では、男女ともに世帯の所得間によって有意差はみられなかった。

### <飲酒>

- ・習慣的に飲酒している者の割合は、男性では、世帯の所得が 600 万円以上の世帯員と比較して、200 万円未満及び 200 万円以上 600 万円未満の世帯員で有意に低い。女性では世帯の所得間によって有意差はみられなかった。

### <体型>

- ・BMI の平均値は、女性では、世帯の所得が 600 万円以上の世帯員と比較して、200 万円未満の世帯員で有意に高かった。
- ・肥満者の割合は、女性では、世帯の所得が 600 万円以上の世帯員と比較して、200 万円未満の世帯員で有意に高かった。
- ・体型では、男性では世帯の所得間によって有意差はみられなかった。

### <バランスのとれた食事>

- ・主食・主菜・副菜をそろえた食事を 1 日 2 回以上食べる頻度がほとんど毎日である者の割合は、女性では、世帯の所得が 600 万円以上の世帯員と比較して、200 万円未満及び、200 万円以上 600 万円未満の世帯員で有意に低い。男性では世帯の所得間によって有意差はみられなかった。

**表3 所得と生活習慣等に関する状況**

注1) 年齢階級(20-29歳、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60-69歳、70歳以上の6区分)と世帯員数(1人、2人、3人以上世帯の3区分)での調整値。

割合に関する項目は直接法、平均値に関する項目は共分散分析を用いて算出。

注2) 「所得」とは、回答した過去1年間の世帯の収入(税込み)。

注3) 世帯の所得額を当該世帯員に当てはめて多変量解析(世帯の所得額を当該世帯員に当てはめて、割合に関する項目はロジスティック回帰分析、平均値に関する項目は共分散分析)を用いて600万円以上を基準とした他の2群との群間比較を実施。

注4) ★は世帯の所得が600万円以上の世帯員と比較して群間の有意差があった項目。

		男性							
		①200万円未満		②200万円以上 600万円未満		③600万円以上		① vs ③	② vs ③
		人数 (人)	推定値	人数 (人)	推定値	人数 (人)	推定値		
運動習慣									
運動習慣がある者の割合	%	17	19.5	113	32.2	38	32.3		
歩数									
歩数の平均値	歩	51	5791	253	6655	101	6833		
喫煙状況									
現在習慣的に喫煙している者の割合	%	79	25.6	328	25.2	135	19.2		
飲酒状況									
習慣的に飲酒している者の割合	%	98	25.3	409	28.0	168	35.4	★	★
生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている者の割合	%	98	13.2	409	10.0	168	12.7		
体型									
BMIの平均値	kg/m <sup>2</sup>	57	23.3	268	23.2	98	24.2		
肥満の者の割合	%	57	20.3	268	26.4	98	28.3		
やせの者の割合	%	57	1.8	268	5.6	98	0.4		
バランスのとれた食事									
主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上 食べる頻度がほとんど毎日である者の割合	%	79	56.4	330	42.2	135	48.7		

		女性							
		①200万円未満		②200万円以上 600万円未満		③600万円以上		① vs ③	② vs ③
		人数 (人)	推定値	人数 (人)	推定値	人数 (人)	推定値		
運動習慣									
運動習慣がある者の割合	%	46	28.5	152	31.0	59	18.4		
歩数									
歩数の平均値	歩	95	5329	290	5683	120	6160		
喫煙状況									
現在習慣的に喫煙している者の割合	%	118	8.4	348	6.4	145	5.3		
飲酒状況									
習慣的に飲酒している者の割合	%	146	3.5	433	7.1	184	8.4		
生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている者の割合	%	146	3.5	433	7.4	184	8.4		
体型									
BMIの平均値	kg/m <sup>2</sup>	98	23.5	300	21.6	122	21.8	★	
肥満の者の割合	%	98	36.0	300	18.7	122	13.8	★	
やせの者の割合	%	98	10.7	300	11.1	122	13.9		
バランスのとれた食事									
主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上 食べる頻度がほとんど毎日である者の割合	%	118	48.3	348	45.1	145	51.6	★	★

※「運動習慣がある者」とは、「1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者」に該当する者。

※「歩数」は「1日の身体活動数（歩数）」及び「歩数計の装着状況」の両方に回答した者を集計対象。

なお、「歩数計の装着状況」に「いいえ」と回答した者及び歩数が100歩未満、50,000歩以上の者を除外。

※「現在習慣的に喫煙している者」とは、喫煙の状況が「毎日吸っている」又は「時々吸う日がある」と回答した者。

※「習慣的に飲酒している者」とは、「飲酒習慣のある者」とは週に3回以上飲酒し、飲酒日1日あたり1合以上を飲酒すると回答した者。

※「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」とは、1日当たりの純アルコール摂取量が男性で40g以上、女性20g以上の者とし、以下の方法で算出した。

①男性：「毎日×2合以上」＋「週5～6日×2合以上」＋「週3～4日×3合以上」＋「週1～2日×5合以上」＋「月1～3日×5合以上」

②女性：「毎日×1合以上」＋「週5～6日×1合以上」＋「週3～4日×1合以上」＋「週1～2日×3合以上」＋「月1～3日×5合以上」

※「肥満者」とは、BMI 25.0以上の者。

※「やせの者」とは、BMI 18.5未満の者。

注5) 運動習慣、喫煙状況、バランスのとれた食事については、質問項目が同様であったH28、R3・4の2回分のデータを利用。それ以外の項目は、H22、H28、R3・4の3回分のデータを利用。

### (3) 所得と食品群別摂取量等に関する状況

・男性では、肉類、調味料・香辛料類の摂取量は、世帯の所得が600万円以上の世帯員と比較して、200万円未満及び200万円以上600万円未満の世帯員で有意に低い。油脂類の摂取量は、世帯の所得が600万円以上の世帯員と比較して、200万円未満の世帯員で有意に高い。

・女性では、穀類の摂取量は、世帯の所得が600万円以上の世帯員と比較して、200万円未満の世帯員で有意に高い。藻類の摂取量は、世帯の所得が600万円以上の世帯員と比較して、200万円以上600万円未満の世帯員で有意に低い。

**表4 所得と食品群別摂取量等に関する状況**

注1) 性別(男性、女性)年齢階級(20-29歳、30-39歳、40-49歳、50-59歳、60-69歳、70歳以上の6区分)と世帯員数(1人、2人、3人以上世帯の3区分)での調整値。

平均値に関する項目は共分散分析を用いて算出。

注2) 「所得」とは、回答した過去1年間の世帯の収入(税込み)。

注3) 世帯の所得額を当該世帯員に当てはめて多変量解析(世帯の所得額を当該世帯員に当てはめて、割合に関する項目はロジスティック回帰分析、平均値に関する項目は共分散分析)を用いて600万円以上を基準とした他の2群との群間比較を実施。

注4) ★は世帯の所得が600万円以上の世帯員と比較して群間の有意差があった項目。

		男性				
		①200万円未満 (n=61)	②200万円以上 600万円未満 (n=276)	③600万円以上 (n=112)	① vs ③	② vs ③
		推定 平均値	推定 平均値	推定 平均値		
食品群別摂取量						
穀類	g	579.6	551.1	518.8		
いも類	g	52.2	50.9	48.0		
砂糖・甘味料類	g	6.1	5.3	7.2		
豆類	g	77.5	48.7	92.4		
種実類	g	2.8	2.8	1.1		
野菜類	g	247.1	275.1	310.7		
一緑黄色野菜	g	64.0	83.7	86.6		
一その他の野菜	g	161.1	164.2	192.9		
果実類	g	116.9	97.2	90.0		
きのこ類	g	9.9	14.7	31.0		
藻類	g	9.1	11.9	13.4		
魚介類	g	99.7	77.6	81.3		
肉類	g	76.5	96.6	139.7	★	★
卵類	g	50.8	35.9	40.9		
乳類	g	102.3	112.4	117.7		
油脂類	g	11.5	14.9	9.7		★
菓子類	g	15.9	21.3	21.7		
嗜好飲料類	g	795.5	750.7	808.2		
調味料・香辛料類	g	86.8	99.0	129.4	★	★
栄養素						
エネルギー	kcal	2281	2154	2304		
食塩相当量	g	12.3	12.2	12.7		

		女性				
		①200万円未満 (n=102)	②200万円以上 600万円未満 (n=304)	③600万円以上 (n=128)	① vs ③	② vs ③
		推定 平均値	推定 平均値	推定 平均値		
食品群別摂取量						
穀類	g	398.6	352.4	332.4	★	
いも類	g	69.5	46.4	49.8		
砂糖・甘味料類	g	5.5	8.0	6.5		
豆類	g	64.9	64.9	83.3		
種実類	g	4.8	5.6	2.2		
野菜類	g	273.8	269.2	310.1		
一緑黄色野菜	g	97.1	91.8	125.9		
一その他の野菜	g	166.3	165.6	171.5		
果実類	g	114.2	117.7	114.5		
きのこ類	g	13.5	21.3	24.6		
藻類	g	14.5	6.9	16.7		★
魚介類	g	63.5	56.2	59.7		
肉類	g	73.9	79.1	84.0		
卵類	g	38.9	33.7	40.9		
乳類	g	109.0	166.7	132.3		
油脂類	g	10.6	10.2	8.6		
菓子類	g	28.6	33.5	44.1		
嗜好飲料類	g	649.9	633.6	676.1		
調味料・香辛料類	g	72.0	78.2	77.5		
栄養素						
エネルギー	kcal	1782	1759	1798		
食塩相当量	g	10.7	10.1	10.5		